



vol. 53

2019年6月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



日本医療機能評価機構

認定第JC295-3号
審査体制区分4(ver.1.0)
2014.8.23~2019.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

表紙《病院の風景》……………1	入退院支援チームの紹介……………5
病気のおはなし 小児外科で治療する病気とは? ……2	君津中央病院附属看護学校……………6
全身麻酔とは? ……………3	大佐和分院よりお知らせ……………7
看護局 8階東病棟の紹介……………4	地域医療センターよりお知らせ……………8

病気のおはなし 小児外科で治療する病気とは？

はじめに 小児外科は一般の小児科(小児内科)に対応して、こども(0歳～15歳まで)の一般外科を担当する診療科です。成人という消化器外科・一般外科がもっとも重なる部分が多いですが、そのほかの病気の範囲は意外にひろく、呼吸器外科、泌尿器科、婦人科に相当する病気も診ています。大学や小児専門病院で治療が必要な小児がんや先天性の病気は当院では治療していませんが、連携して診療にあたっています。

鼠径ヘルニア(陰のう水腫)・・・・・・・・

約20～50人に1人と、こどもが手術を受ける疾患としては最も多い病気です。鼠径管とよばれる鼠径靱帯のおなか側に生じた生理的空間に生下時に一時的にできる腹膜鞘状突起という袋が閉鎖せずに残り、その袋に腸管や大網、腹水、女児では卵巣や卵管が脱出することで症状が出現します。早産児では頻度が高いとされます。1歳までは治ることがありますが、1歳を過ぎると袋は一生残ってしまいます。一時的に症状がなくなっても、腹圧増大時(重い物の持ち上げ、激しいスポーツ、妊娠など)に再脱出することも少なくありません。自然軽快しない場合には手術が勧められます。嵌頓(かんとん)という腸がはまって痛くなる腫れ方を繰り返す際には早期に手術が勧められます。

臍ヘルニア・・・・・・・・

いわゆるでんそで、臍(へそ)が腸管などの脱出とともに膨隆します。早産児ではやはり頻度が高い傾向があります。腹筋の発達とともに1歳頃までに約80%、2歳頃までに約90%が自然治癒するとされ手術が必要な方は少ないです。ごくまれに嵌頓すると緊急手術になることがあります。圧迫療法をすることで自然治癒を促進し、余剰皮膚を生じないようにできる可能性がいられています。

停留精巣・移動性精巣(遊走精巣)・・・・・・・・

停留精巣は男の子の病気としては多く、生下時に認める性器障害ではもっとも多いとされます。陰嚢内の適切な位置に精巣が下降していないあるいは固定されていない状態です。精巣は腎臓の下あたりにできて、胎児期から生まれるまでに陰嚢まで下降してきます。生後6か月までは下降してくることがありますが、それ以降は下りてきません。健診で精巣を触れにくいことを指摘されることがあります。多くの場合は移動性であり、陰嚢のしわがのびているとき(温かい時)には精巣も袋に収まっているケースがほとんどですが、停留精巣ではいつもおなかの方に隠れていて陰嚢の袋では触れられません。停留精巣では2歳までに手術が必要ですが、移動性の場合には経過によります。

そのほか色々なところでできたしこりや腫瘍、乳幼児の便秘、水腎症などが小児外科で治療する比較的頻度の高い病気です。小児外科学会のホームページをご覧くださいと詳しい説明が載っていますので参考にしてみてください。

(小児外科：四本 克己)



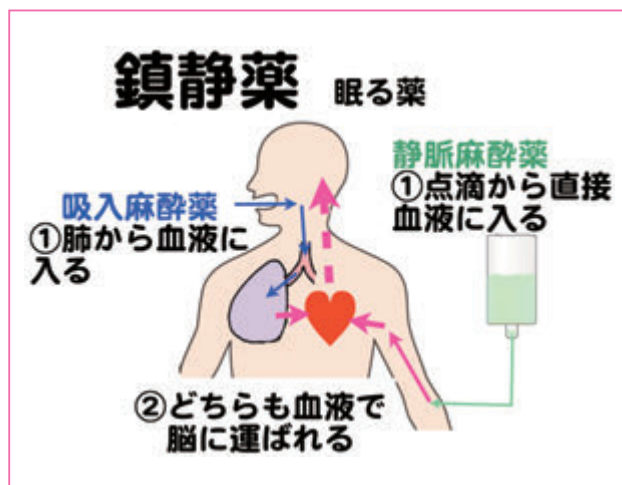
©fumira

全身麻酔とは？



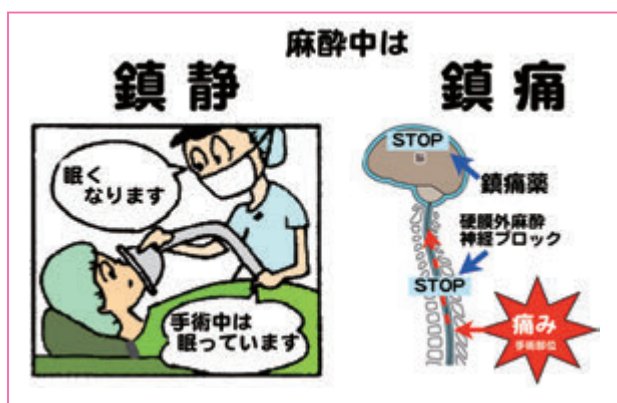
全身麻酔は「どのような薬を使い、何をするのですか？」と、よく聞かれます。始まりは、点滴から眠る薬(=静脈麻酔薬)が入って眠ります。

その後は静脈麻酔薬を使い続けるか、ガス状の眠る薬(=吸入麻酔薬)に切り替え肺に送るかして**眠る状態(=鎮静)**を続けます。どの麻酔薬を使うかは状況によりますが、体内での濃度を測定 or 計算して使います。(下図)



鎮静(眠る)の他にも、**鎮痛**(痛みなどの刺激を感じない)という状態が麻酔には必要となります。意識がないだけでは全身麻酔になります。鎮痛薬として、主に医療用麻薬を点滴から入れて使います。これらの薬も体内での濃度を測定 or 計算して使い、麻酔中の**鎮痛**をきめ細かく行います。

また鎮痛薬の代わりや補助に、硬膜外麻酔や神経ブロックという鎮痛方法が併用されることもあります。(右上図)



このように**鎮静**と**鎮痛**そして補助の薬や方法を組み合わせて全身麻酔が行われます。(多くの場合、筋弛緩薬を使い不要な筋肉の動きを止めます。その際には呼吸も止まるので人工呼吸を行います。)

とはいっても、麻酔/手術時には体の状態が刻々と変化します。そのため、使った薬の効果や濃度と身体への反応(血圧等/脳波・BIS等)や、周囲の状況(手術の進行具合・出血/手術時間/身体へのダメージ等)などから判断して、その時の状況に合わせた“丁度良い麻酔の状態”を常に保つのが全身麻酔なのです。(下図)



以上が全身麻酔の大まかなイメージとなります。

(麻酔科：野村 明)

看護局 8階東病棟の紹介

8階東病棟は、脳神経外科(31床)・耳鼻いんこう科(15床)・内科(4床)の3科を担う病棟です。現在脳神経外科医師5名、耳鼻いんこう科医師4名、看護師31名、臨時・パート看護師3名、看護助手4名の職員で業務に従事し、入院患者様に安全で安心な医療が提供できるよう、他職種連携に取り組み、また、脳卒中連携パスなど地域連携の充実にも取り組んでいます。

脳神経外科は、救急医療を受けられる患者様、急性期～回復期の患者様、回復期～リハビリ期(退院・転院)の患者様と幅広く、医師・リハビリ・医療ソーシャルワーカーともカンファレンスを行い、患者様個々に寄り添った医療・看護をめざしています。

耳鼻いんこう科は、救急医療を受けられる患者様をはじめ、長期医療の提供を必要とされる患者様など患者個々に寄り添った医療、特に患者様とのコミュニケーションに心がけています。週1回患者カンファレンスも行っています。

耳鼻いんこう科



研修医師が、1ヶ月交代で病棟に配属され、満足できる研修となるよう、病棟一同共働しています。

業務の充実だけでなく「ワークライフバランス」に取り組み、現在PNS(看護師2人がパートナーとなり、お互いに補完し、協力し合う新しい形の看護提供体制)を開始しています。常に、課題に向けて前向きに取り組む病棟です。自己研鑽のため、研修会参加も個々に進んで行っています。

今後も地域の脳神経外科・耳鼻いんこう科の中枢医療が担える病院・病棟となるようスタッフ連携、チーム医療の充実に取り組み、地域に貢献できるよう努力していききたいと思います。

(8階東病棟看護部長：鶴岡 典子)

病棟での研修風景



病棟スタッフ

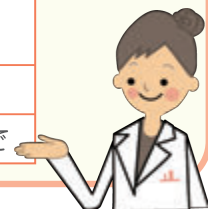


Information

がんサロンのお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さまやご家族が集まって、それぞれの体験や思いを語ることができる場所、病気や療養について情報交換ができる場所です。新しい出会いや抱えている悩みや問題を解決する糸口が見つかるかもしれません。ぜひ一度お越しください。

日 時	令和元年6月21日(金)、7月19日(金)、8月16日(金) 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場 所	2階 患者図書室 ※予約はいりません。費用無料です。
お問い合わせ先	☎0438-36-1071(代) 担当：ソーシャルワーカー 保坂 まで



入退院支援チームの紹介

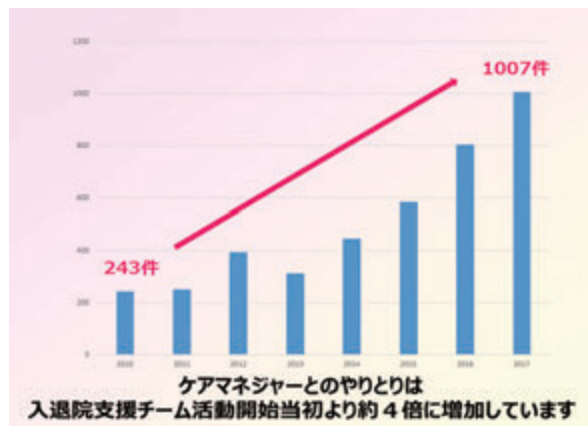
入院や退院に伴う不安や気がかりを支える縁の下の力持ちです

「入院」によって、患者さまやご家族の皆さまの「日常生活」は「非日常」へと変化します。また逆に「退院」は、「医療者が傍にいる場」から「いない場」に変わります。そのため、環境の急激な変化による戸惑いのほか、多くの緊張が生じ、対処が難しい困難や多くの不安を抱えやすい状況になりがちです。

入退院支援チームは、君津中央病院に入院した患者さまやご家族の皆さまが、入院後安心して急性期病院での医療を受けていただけるように、また急性期医療終了後は次の療養先について自ら考え、もとの(あるいは新たな)療養先で安心・納得して生活できることの実現をめざし活動しています。

活動は2010年から、全病棟の看護師が参加し入退院支援のルール作りをしています

2010年の活動開始当初は、約半数の病棟からの参加でした。現在は一般病棟以外のICU・HCUなどの急性期病棟や緩和ケア病棟の看護師も活動に参加しています。月1回の会議では、入院時から退院に至るまでの期間、切れ目なく必要な支援が提供できるよう入退院支援に関する情報の情報共有や、病院・君津地域での入退院支援のルール作りなどを行っています。結果、介護保険利用者の担当ケアマネジャーとのやりとりは年々増えています。2017年度には1,000件を超え、活動開始当初に比べて約4倍となりました。



入院時から病棟看護師が病院内外の専門職と共に、退院に向けた支援をしています

患者さまが入院すると、病棟看護師は入院に際しての不安や気がかりがないかどうか、退院後はどこでどのような生活を送りたいのかを確認しています。病状や医療提供内容、患者さまの日常生活の状況などから、必要に応じて医療ソーシャルワーカーやケアマネジャーなど様々な病院内外の専門職と共に知恵を出し合って、どのような支援ができるのかを相談しています。その上で患者さまの状況に合わせた退院準備や、退院後の生活について様々な提案をさせていただいています。“患者さま目線での支援”に向けて、これからも活動していきたいと考えています。

(入退院支援チーム：杉原 幸子)



君津中央病院附属看護学校

君津中央病院附属看護学校 学生募集のご案内

○君津中央病院附属看護学校の概要

- ・保健師助産師看護師法第21条で定める看護師養成所(3年課程)、学校教育法第125条で定める専修学校の専門課程(専門学校)であり、卒業すると看護師国家試験の受験資格を得ることができ、専門士の称号が授与される。
- ・学生数 184人在籍(男子20人・女子164人)
- ・沿革 昭和46年7月 君津中央病院附属高等看護学院として開校
昭和52年2月 専修学校専門課程の認可を受ける
4月 君津中央病院附属看護学校に名称変更
平成26年4月 新校舎開校(1学年60人・2クラス制へ移行)
平成28年2月 新学生寮竣工(60室)
- ・教育理念 「人間愛に基づいた豊かな感性を持ち、看護職としての責任を自覚し、専門的知識・技術を身につけ、社会に貢献できる看護実践者を育成する。」
- ・授業カリキュラム・・・100単位 3,060時間
学内教員の他、院内外講師による講義、学内演習
臨地実習(君津中央病院の他、4市内病院、医療関係施設等)



○入学試験

受験資格 高等学校卒業又は卒業見込み者、同等以上の学力があると認められた者

募集人員：推薦・一般入試合わせて60人

【推薦入試】 出願受付：令和元年 9 月30日(月)～10月11日(金)
試験日：令和元年10月19日(土)

【一般入試】 出願受付：令和元年11月25日(月)～12月20日(金)
試験日：令和2年 1 月 6 日(月)

○オープンキャンパス

日程：令和元年7月29日(月)～31日(水) 午前中

内容：学校説明会、演習体験、模擬授業、学生交流会、
進路相談会等

申し込み：電話または本校ホームページからお申し込みください。

※学校見学は随時受け付けておりますので、お問い合わせください。

詳細につきましては本校ホームページにてご確認ください。

URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/kimikan/>



○本件に関するお問い合わせ先

〒292-0822 千葉県木更津市桜井1010番地
君津中央病院附属看護学校 事務係

電話 ▶ 0438-53-8767

E-mail ▶ kimikan@mqb.biglobe.ne.jp

大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

リハビリテーション系の紹介

リハビリテーション係は現在、理学療法士2名、作業療法士1名およびリハビリ助手1名の計4名で構成されています。入院されている患者さまの中で医師が必要と判断した方に対して、私たち理学療法士と作業療法士がリハビリテーションを実施しております。当院の入院患者さまは高齢者が多いことが特徴です。高齢者が入院する場合、廃用症候群に注意する必要があります。入院により安静臥床(ベッドで寝ている)時間が長くなると、それに伴い廃用症候群という元の病気や怪我とは関係ない二次的合併症を引き起こす可能性があります。病気や怪我が治っても、この廃用症候群のために歩けなくなり自宅に退院できなくなる事があるため注意が必要です。

◆廃用症候群とは

廃用症候群とは、過度に安静にすることで身体に生じる様々な状態を指します。ベッドで長期に安静にした場合には、疾患の裏で生理的な変化として様々な症状が起こり得ます。例えば、筋肉がやせ衰える、関節が拘縮して動かせなくなる、骨がもろくなる、心臓の機能が低下する、精神的に落ち込むうつ状態になる、褥瘡(床ずれという皮膚のきず)が発生する等です。過度の安静は毒であり、ベッドから起きて座る・立つ・歩くことが薬となり廃用の予防・回復に繋がります。

◆過度の安静で筋力が低下する

廃用症候群の中で筋力を例にとると、ある研究では60歳以上の高齢者に10日間ベッドで生活を送ってもらい、その筋力の変化を記録しました。その結果、筋力は10%以上低下した上、筋持久力の指標である最大酸素摂取量も12%低下することがわかりました。さらに一度低下した筋力や筋持久力は若年層の場合、リハビリすることによって回復しますが、高齢者の場合はかなり回復しにくいことも報告されています。

私たちリハビリテーションスタッフはリハビリ処方が出たら、速やかに患者さまの身体の状態を評価し、安全な範囲で離床(ベッドから起きること)や筋力トレーニングや歩行練習を開始します。皆様が少しでも早く元気に、ご自宅や住み慣れた場所に退院できるようご支援致します。

(リハビリテーション係：鈴木 真志)



国保直営君津中央病院大佐和分院
〒293-0036 富津市千種新田710番地 TEL:0439-65-1251

外来診療日

平成31年4月1日改正

診療科		受付時間等		診察室	月 医師	火 医師	水 医師	木 医師	金 医師
内科・小児科	午前	受付時間	8:00~11:30	1	長谷部		長谷部	長谷部	寺林
				2	田中	田中	三浦	田中	田中
		診療時間	9:00~	3		北湯口	北湯口	北湯口	北湯口
				5	安達		安達	【毎月最終木曜日のみ】 桐谷	安達
糖尿病・内分泌・代謝内科 (予約のみ)	午前	受付時間	予約時間に準ずる	内科 外来					【予約のみ】 落合
脳神経内科 (予約のみ)	午前	受付時間	予約時間に準ずる	1					【予約のみ】 【毎月第1、第3】 藤沼
外科	午前	受付時間	8:00~11:30	2			三浦		
		診療時間	9:00~						
整形外科 初診、予約無し 再診の方の受付は当日25名まで	午前	受付時間	8:00~11:30	5		【予約患者有】 保住			
		診療時間	9:00~						
皮膚科	午後	受付時間	8:00~15:00	5		【予約患者有】 田頭			
		診療時間	14:00~						
泌尿器科	午前	受付時間	8:00~11:30	泌尿器科 外来		【予約のみ】 荒木		【予約のみ】 片海	
		診療時間	9:00~					【予約のみ】 片海	
		受付時間	12:00~15:00						
	午後	診療時間	13:30~						
眼科	午前	受付時間	8:00~11:30	眼科 外来	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
		診療時間	9:00~						
		受付時間	12:00~15:00		佐々木		佐々木	佐々木	
	午後	診療時間	13:30~						
循環器内科 (超音波検査) (予約のみ)	午後	受付時間	予約時間に準ずる	エコー室	【予約のみ】 山本・関根・芳生 外池・鹿田 【医師交代制】				
人間ドック (予約のみ)	午前	受付時間	予約時間に準ずる				【予約のみ】 田中		【予約のみ】 山倉





地域医療センターよりお知らせ



地域の急性期病院として『地域医療連携』を推進しており、さまざまな機能を持つ地元の医療機関と機能分担し、患者さまの症状や状況に応じた医療提供を目指しています。

地域医療機関と当院の受診の流れ（救急を除く）

具合が悪い



患者様

1



かかりつけ医

2



君津中央病院

- ①まず『**かかりつけ医**』を受診しましょう。
専門的な治療、検査が必要な方は、**紹介状**を書いてもらいましょう。
- ②**紹介状**をお持ちになって受診しましょう。

3



かかりつけ医

- ③症状の安定後は**紹介状**を書きますので、『**かかりつけ医**』で、必要な診療を継続できるようにしてまいります。
お近くの自分にあった『**かかりつけ医**』で日ごろの健康管理や初診治療を受け、必要に応じて『**かかりつけ医**』から当院を紹介してもらい、紹介状をいただいて専門的な検査や治療を受けましょう。

紹介状をお持ちの患者さまは、待ち時間の短縮・適切な診療科で受診できるように、事前に診療予約をお願いいたします。

なお、**総合診療科**につきましては、診療予約をお受けしておりませんのでご了承ください。
紹介状をお持ちの患者さまには以下のメリットがあります。

- 優先的に診療を受けられます。
- 初診時選定療養費 5,400円（歯科は3,240円）が免除になります。
- 診療の事前予約ができ診療待ち時間の短縮になります。
- かかりつけ医からの情報により診療がスムーズになります。

★予約受付先★

地域連携室 TEL 0438-36-1069（予約専用電話）
予約時間 8：30～12：00 13：00～16：00
（土日祝日及び年末年始は除く）

